

# 令和3年度環境とやま県民会議 事業報告

## 1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。

このことから「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」及び「環境教育・環境保全活動の推進」を柱に県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって各事業を展開した。

特に統一活動として、「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大やとやま環境フェアなど各種イベントの開催・参加により、エコライフの定着・拡大を図った。

## 2 事業内容

### (1)循環型社会と低炭素社会づくりの推進

#### <循環型社会づくり>

##### ①とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動を促進するとともに、新たに「エコ・ストア」としてレジ袋削減、3R活動等に取り組む事業者を引き続き募集・登録し、その活動を支援するなど、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進した。  
このほか、エコ・ストア優良取組み事業所の表彰をした。
- ・登録状況 70社(1,066店舗)、6商店街(令和4年3月現在)

##### ②プラスチック容器削減・転換推進事業(ノートレイ等の推進)

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県
- ・内 容 プラスチックの排出抑制を図るため、日常生活で多く排出される食品トレイについて、スーパー等におけるノートレイや紙トレイなどへの転換を推進した。
- ・店舗数 3事業者50店舗・1商店街
- ・実施期間 令和3年4月～令和4年3月

##### ③家庭系食品ロス削減対策事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 本県の食品ロスの課題である「手付かず食品」の削減に向けて、家庭の未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブについて、市町村・関係団体などに実施を呼びかけ、リレー形式で展開したほか、回収する食品の種類を限定した簡単な「お試し版フードドライブ」の開催支援、スーパーと連携して効率的な運営の実証実験を実施し、取組みの拡大を図った。

また、家庭で余っている食材を持ち寄って料理するサルベージ・パーティについて、本県が認定したサルベージ・サポーター（講師）と開催を希望する団体等とのマッチングを行った。

- ・実績 フードドライブ：56回（令和3年4月～令和4年3月）  
サルベージ・サポーターマッチング：実施回数（4回）

#### ④いつでも、どこでもリサイクル促進事業

- ・主催 富山県
- ・内容 民間事業者等による資源物の回収拠点を認定し、住民に啓発することで、資源物回収量のさらなる増加を促進し、再生利用率の向上を図った。

#### ⑤使い捨てプラスチック削減促進事業

- ・主催 富山県
- ・内容 化石資源由来の使い捨てプラスチック容器からバイオマスプラスチックへの素材転換を促進するため、食料品製造業や小売業等の事業者によるバイオマス由来の原料を使用した代替品の導入に対して補助を実施した。

#### ⑥プラスチック資源利用可能性調査

- ・主催 富山県
- ・内容 県内で排出される廃プラスチック類やバイオマス資源を活用したプラスチック製品の再商品化の可能性を調査・検討した。

#### ⑦とやま環境フェアの開催

- ・主催 とやま環境フェア2021開催委員会
- ・実施時期 ウェブ会場：令和3年10月1日（金）～令和4年1月16日（日）【3R推進月間】  
リアル会場：令和3年10月23日（土）、10月24日（日）、12月4日（土）
- ・内容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行った。  
なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止および、新しい生活様式の一環として、家庭にしながら参加できるウェブ開催を中心としつつ、小規模会場での体験、体感型のリアル開催を併用して開催した。
- ・閲覧者数 閲覧ユーザー数：7,206人
- ・参加者 リアル会場の来客数：449人

#### ⑧3R推進に係る表彰式の開催

- ・主催 富山県、環境とやま県民会議
- ・開催日 令和3年10月21日（木）
- ・内容 3Rの推進や地球温暖化対策の推進に尽力し、その功績が顕著な個人、団体等を表彰した。  
環境とやま県民会議会長表彰

ごみゼロ・リサイクルの推進に該当する活動 1 団体 2 事業所  
地球温暖化対策の推進に該当する活動 2 個人 2 団体  
とやまエコ・ストア制度に関する活動 1 事業所

#### ⑨ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 環境とやま県民会議、富山県
- ・実施時期 令和3年10月25日(月)～令和4年1月16日(日)  
(とやま環境フェア2021と併催)
- ・内 容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深め、ごみゼロ社会への取組みを推進するため、功労者の取組み等を、とやま環境フェア2021(ウェブ)で紹介した。

### <低炭素社会づくり>

#### ①エコドライブ推進運動の実施

##### (ア)エコドライブの推進

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 令和3年4月～令和4年3月
- ・内 容 二酸化炭素排出量の削減だけでなく、燃費向上や交通安全にもつながるエコドライブについて継続した実践を促すため、各種イベント等において普及啓発を行った。  
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、エコドライブ実践者の拡充を図った。

##### (イ)エコドライブ実践促進事業

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 令和3年10月23日(土)、10月24日(日)、12月4日(土)
- ・内 容 エコドライブ実践の一層の定着・拡大を図るため、とやま環境フェア会場において、気軽にエコドライブを体験できるシミュレーターを用いた体験会を開催した。

#### ②「新しい生活様式」を踏まえた公共交通利用をテーマとした県民運動への参加

- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・内 容 鉄軌道の施設整備及びバス路線の運行維持等を支援するなど、公共交通の維持活性化・利用促進に向けた取組みを推進した。

#### ③宅配便の「再配達防止」の普及促進

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 随時

- ・内 容 近年の通信販売市場の拡大に伴い、二酸化炭素排出量の増加などで問題  
 になっている再配達を削減するための普及啓発を行った。

#### ④「COOL CHOICE」の普及促進

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖  
 化防止活動推進センター)
- ・内 容 環境イベント等を通じて、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換  
 え・サービスの利用・ライフスタイルの選択などの普及啓発を行い、地球  
 温暖化対策に資する国が展開している国民運動「COOL CHOICE  
 (賢い選択)」の拡大・定着を図った。

#### ⑤クールビズ、ウォームビズの実践及び啓発

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスの冷房時の室温(目安として28℃)の適正管理等を行うこ  
 とにより、一人ひとり個々の事情に応じて、快適で働きやすい軽装を実践  
 した(クールビズ)。また、冬の暖房時は、一枚多く着るなどの工夫で、  
 室温は20℃を目安として暖房に頼りすぎることなく、快適に過ごすスタイル  
 を実践した(ウォームビズ)。

#### ⑥エコアクション21推進事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団(エコアクション21普通地域事務局)
- ・実施時期 令和3年4月～令和4年3月
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」  
 制度の普及を図るとともに、「エコアクション21自治体イニシアティブ・  
 プログラム」を実施し、事業者の認証・登録を促進し、持続可能な社会づ  
 くりを図った。

また、認証・登録事業者における環境経営の理解促進と取組みの活性化  
 を支援するために、脱炭素経営の展望や環境関連法規の最新情報につい  
 ての講演のほか、認証事業者による環境経営の取組み事例を紹介するオ  
 ンライン交流会を開催した。

- ・実 績 エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム  
 実施期間(令和3年9月～令和4年3月)開催回数(6回)  
 講習会参加事業者数(8社)  
 エコアクション21事業者交流セミナー  
 開催日(令和4年2月17日(木))  
 参加者数(48名)

## (2)環境教育・環境保全活動の推進

### ①エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止や

ごみゼロなどのテーマに関する、「エコライフ・イベント」を実施した。  
また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を  
図った。

各市でのエコライフ・イベント

市	時期	会場	概要
富山市	8月3日(火) (52名)	富山市エコタウン 推進センター	
	8月4日(水) (36名)	まちなか総合ケア センター	・エコキッズ環境教室 (未来を担う次世代のために産学官と連携し 環境教室を開催)
	7月16日(金)～ 8月31日(火) (応募数 202人)	市内の小学校 富山市民プラザ等	・COOL CHOICE 普及啓発イベント エコバックデザイン大募集、COOL CHOICE の 普及啓発をテーマとした教室やワークショッ プ等を開催
	10月23日(土)～ 11月3日(水) (274名)	ファミリーパーク	・地球温暖化クイズスマホラリー
	12月12日(日) (46名)	富山市立図書館	・地球温暖化ワークショップ
	令和4年2月1日(火) 令和4年2月5日(土) (32人) — 小計(440名) 応募数(202人)	富山市総合体育館 まちなか総合ケア センター —	・ヨガ×漢方×ハーブでウォームビズ (冬場の健康づくりとウォームビズとの関係に ついてイベントを開催) ・緑のカーテン育て方講習会 (中止)
高岡市	令和4年3月11日 (金)・12日(土) (寄付された方170名)	ヒラキストア大坪 店	・フードドライブの実施。 (3月17日に贈呈式：高岡市社会福祉協会、高 岡市社会福祉事務所に食品 2,018 点・市災害備 蓄品 5,680 点を贈呈)

市	時期	会場	概要
魚津市	令和4年2月21日 (月)～ (魚津市内の小学生890 人に配付)	魚津市テクノスポ ーツドーム(あり そドーム) 「第27回環境フ ェスティバル」は 中止	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境フェスティバル(新型コロナウイルス感 染防止のため中止)</li> <li>SDGs、ゼロカーボンシティ、魚津の水循環を テーマにした環境啓発パンフレットを市内の 小学4年生～6年生に配付。</li> </ul>
氷見市	8月1日(日)(600人) 令和4年2月	氷見海岸沿い(松 田江浜、島尾海 岸、氷見漁港周 辺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>氷見海岸沿いの清掃活動(氷見クリーン大作 戦)</li> <li>海岸清掃や環境に関する発表をされた事業者 及び小学生に環境表彰を実施。</li> </ul>
滑川市	10月30日(土) (300人)	滑川市産業研修セ ンター「滑川市環 境フェア2021」内	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生によるエコポスターコンクール受賞 作品の展示。</li> <li>市民団体、事業所、学校等による環境に関す る取り組みパネルの展示。</li> <li>手作りパズルの体験コーナーの設置等。</li> </ul>
黒部市	10月21日(木) (250人)	「第30回アクア パークフェスティ バル2021」は中止 黒部ショッピング センター・メルシ ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロス削減の取り組みを図るため「使いき り3015」の運動に賛同。</li> <li>啓発用マグネットの作成・配布。</li> </ul>
砺波市	令和4年3月26日 (土)・27日(日)	砺波市内でのイベ ントは中止 春の剪定枝リサイ クル大作戦を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止のため中止。</li> <li>市が各家庭の剪定枝をリサイクル処理施設に 直接運搬し堆肥化。</li> </ul>
小矢部市		クロスランドおや べ 「第41回小矢部 市農業祭」は中止	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止のため中止。</li> </ul>
南砺市	9月24日(金)～ 26日(日) (500人) 令和4年 3月5日(土)	イオンモール砺波 店 「となみSDGs WEEK」 ショッピングセン ターア・ミュー 店	<p>SDGs推進にかかる普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発用の木製コースターを製作し、「と なみSDGs WEEK」の出展ブースで配布</li> <li>国際女性デー(3月8日)の取組みとして南砺 市SDGsブースを出展し、来場者に環境に関す る啓発活動を実施。</li> </ul>

市	時期	会場	概要
射水市	令和3年 12月8日(水)～ 令和4年 1月31日(月) (閲覧者数2,901人)	ミライクル館 「第16回射水市 環境と暮らしフェア」 オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くらしから考えよう、環境のこと！をテーマに環境セミナー「論語から紐解くSDGs」講師：安岡定子先生の講演を開催。</li> <li>・市内の小中学生が描いた環境ポスター展示等をWEBで発信し、「とやま環境フェア2021」ウェブ会場と相互にリンクして開催。</li> </ul>

参加人数：6,051人

(応募数：202人)

合 計：6,253人

#### ②環境保全・環境教育に関する活動支援事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実 績 「エコノワとやま」151団体(掲載団体数)
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談に対応するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じた情報発信を行うとともに、「とやま環境フェア2021」のイベントとして、企業、環境保全団体が事例発表や意見交換を行う「エコノワとやま」交流会を開催し、環境保全・環境教育活動の拡大を図った。また、新たにエコライフの実践を促進するための普及啓発資材を製作し、活動支援の充実を図った。

#### ③とやま環境未来チャレンジ事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・開催期間 令和3年4月～令和3年12月
- ・実施校数 県内全市町村 小学校70校
- ・参加者数 3,543名
- ・内 容 10歳の児童が、地球温暖化や食品ロス等の環境問題を学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価する取り組みを通じて、環境に配慮したライフスタイルの啓発や家庭における地球温暖化対策の推進を図った。  
また、地球温暖化対策や食品ロス削減などエコライフに関する副読本を県内全ての小学4年生児童に配布し、学校での授業及び実践活動を支援した。

#### ④スターウォッチング推進事業

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・開催日 令和3年8月6日(金)
- ・参加人数 約50名

- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気や街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、星空観察会を開催した。

⑤はじめてのエコライフ教室の実施

- ・主 催 富山県、（公財）とやま環境財団
- ・実施時期 令和3年7月～令和4年1月
- ・実施園数 12園
- ・参加者数 幼児390名、保護者23名
- ・内 容 幼児期から（家族ぐるみで）エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施した。